

任意団体 大阪海さくら

音楽とごみ拾いで繋ぐ、大阪湾のアマモと子どもたち『大阪海さくら』

集めたごみの袋量	386 袋
アマモの里親件数	150 件
活動の全体目標に対する達成度	60%



大阪湾沿岸域でのごみ拾い

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 音楽イベントや小学校への環境授業を開催した。
これらの活動により、音楽イベント関連で、のべ2,000人以上の方々に、環境授業で300人以上の児童に、大阪湾の現状や環境について知っていただいた。
- 工夫** 地元の団体とより協力してイベントを開催することにより、前年の倍以上の来場者になった。

課 題

“海のゆりかご” アマモは、海にとって食物連鎖の底辺であり、酸素を出し続け海水の浄化もしていた。

しかし、1960年代からはアマモの藻場の90%が消滅した。

活動内容

大阪湾の沿岸において、持続的な海洋生物の保全を目的として、アマモ場を保全するため、アマモの移植活動を行う。また、本地域のアマモ場及び、海洋生物の保全の目的で、大阪湾沿岸及び、淀川河口流域の清掃活動を行う。

また、一般市民に対して、アマモの現状や重要性を普及啓発するために、音楽イベントやエンターテインメントイベントを開催する。小中学校や地域住民を対象として、環境学習の実施を呼びかける。



小学生が育てたアマモ

今後の課題

主催イベントのチケットの売上や関連グッズの売上によって、今後の活動総額の30%を確保するようにする。

また、NPO団体として登記することにより、より行政や他の外部機関との協働をし、資金確保につなげる。